

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2023. 2. 3 NO. 9



文化祭が終わりました。世間では「3年ぶりに」というワードが流行になっているようですが、本校の文化祭においても「3年ぶりに」学年のステージ発表が復活しました。保護者席の後ろの方で見ていましたので、距離は昨年までの動画発表を見ているときとの距離の方が近く

で見ているわけなのですが「やはり生の演劇はいいな」と改めて実感しました。

劇では普段は声の小さい生徒が大きな声でセリフを言っていたり、「この子こんなにダンスが上手かったんだ」等、新たな発見をすることができました。

前号で文化祭のステージ発表で「自分を表現することと向き合う」と記しました。働くことも自分を表現するという面もあると思います。その点において今回の文化祭では立派に自分を表現することができていたのではないかと思います。

今回の経験が今後の色んな場面に生かされるといいですね。

進路相談について



1日より2年生の進路相談が始まっています。卒業したらどうしたいのか、就職したいのならどんな仕事か、その希望に向けての準備はできているか、自分の進路希望と合わせて、働く人間になるための今の自分のこれまでの取り組み具合について、自分の現状を伝えられるよう、考えをまとめておくようにしてほしいと思います。



1年生は、卒業式が終わってから進路指導部職員と生徒本人の2者での相談となります。どんな仕事をしたいか、どんな企業に就職するかではなく、働く人間になるための学校や家庭での生活を振り返り、今後に生かせるようにするのが目的です。今までの自分の生活を振り返っておいて欲しいと思います。

3年生の状況について

来週より内定実習が始まります。前回の実習から何か月と間が空いている人、前回の実習から連続のような形で行く人、内定実習期間が結合実習となっている人、学校に残る人、状況は人それぞれですが、早い人は3月から働き出します。働き出せば給料をもらうこととなります。これは当たり前ではありません。実習段階では少々ことは許してもらえても、給料をもらうとなるとそうはいきません。ある卒業生が「正式に働き始めて周りの方の自分に対する接し方がきつくなつたように思う」と言っていたのが印象に残っています。入社後、戸惑うことのないようにその会社の社員になつたつもりで、自分に厳しく取り組んで欲しいと思います。

まだ進路先が決まっていない人は卒業も近づいてきている中、焦る気持ちもあるかもしれません。確かに「卒業」というのは大事な節目であることは事実ですが、就職は相手のあることで思い通りに進むわけではなくまた、この学校では「就職するのは卒業するからではなく、就職するための準備ができたから」と捉えており、卒業時に合わせるという考え方はとっていません。自分のやることをしっかりとやりつつ、いつお話があっても大丈夫なように日常生活を送るようにして欲しいと思います。

オープンキャンパス（保護者向け）のお知らせ

兵庫障害者職業能力開発校（伊丹の訓練校）で保護者向けオープンキャンパス（本人同伴も可能）が開催されます。希望される方は申込書をお渡ししますので学級担任までお申し出ください。なお、参加に関しましては個人での参加となります

記

- 日時 3月4日(土)
1回目 9:15～11:45
2回目 13:15～15:45
- 内容
 - ・在校生の保護者、在校生による経験談
 - ・在校生による訓練実施・説明、
 - ・質疑応答、情報交換など
- 申込締切日 2月24日（金）事前申し込み制（定員10組 20名）

